# 第58回県連大会　質疑応答

〈全体討論〉

●新宮

瀬頭慎平代議員

年齢に関係なく厳しい就労実態があり、生活保護受給率は国や市の10倍となっている。地域の実態をふまえた就労の課題、仕事保障に向け具体的なとりくみをしめされたい。3年越しの報告となるが、新宮市内の高校でおこった差別事件は、本人の希望する進路に送りだすことができた。今後も県連と連けいしながら二度とこのような差別事件がおこらないようにとりくみをすすめていく。

教育の課題について、進学率より卒業率の方が大事。県連として学力保障と学習支援推進教員の任務についての認識を聞かせてほしい。

●那賀

井端尚司代議員

プライム事件をきっかけに登録型本人通知制度が導入されていて現在、和歌山県で11の市町村が導入されている状況。紀の川市でも導入されたが、市の広報に少し出ただけで登録があまりすすんでいない。他の支部の登録状況はどのようになっているのか。

参議院選挙の選挙区はどうなるのか。県選出の国会議員の人権の法制度についてどのようにとりくまれていくのか。

●杭ノ瀬

岸田貴裕代議員

9月21日～22日に和歌山で開催する全国青年集会に各支部より多くの青年の参加をお願いしたい。

〈執行部答弁〉

**松本吉弘・教育文化運動部長**

これまで、先人たちが築いてくれた奨学金制度や加配教師の獲得、子ども会による学力補充などにとりくんできたが、大学進学率は縮まらない。基礎学力もないまま中途退学をしてしまう子どもたちもいる。文部科学省が発表した「教育白書」のなかで親の収入の格差が子どもの学力に影響することが報告されている。親の就労の課題を解決しなければならない。生活労働運動部、企業対策部と連けいしながら継続したとりくみをすすめる。加配の問題について、人数や質について行政とやりとりをして適正な配置と人数の確保を求めていく。

**松井資喜・青年対策部長**

就職や住宅は深刻な問題であり、とくに紀南地方は厳しい状況にあることは把握している。青年対策部として行政や企業に訴えていきたい。

9月にひらく全国青年集会を機に、地元の青年を結集して送り込んでほしい。

**藤本哲史・書記長**

仕事の問題は部落差別にかかわる本質であり、これまでさまざまなとりくみをしてきた。しかし、県下では地理的な状況もあり、北方はとりくみができたとしても、南方では厳しい状況がつづいていることは認識している。中央本部でも新しい雇用、新しい労働、新しい職場を作り上げていこうと呼びかけている。県連と新宮支部と連けいしながらとりくみをしていきたい。

登録型本人通知制度について、各種団体への登録もすすめるとともに、各支部で登録をしてほしい。

選挙について、県選出の国会議員は、人権の法制度に向けて積極的にとりくみをすすめている。和歌山で発生した部落差別事件を提示し部落問題の認識を高めるとりくみをすすめている。

●湯浅

橋本和弘代議員

対県交渉以外に必要に応じて話し合えるような場を設けてほしい。

振興局の同和研修は、高齢者の研修はするが、障がい者の研修はない。また、移動する手段がないことを「足がない」という表現はやめるように注意をしてほしい。

〈執行部答弁〉

**平見良太・生活労働運動部長**

対県交渉で予算をともなう交渉は、すぐに答えをもらいにくい。事務局をつうじて随時県側の回答をもらうようになっているが支部に連絡がいかないこともあるかと思う。支部長なり、県委員会をつうじて支部に伝えていきたい。

有田振興局の屋根の問題について、書記長からも要求して早期実現できるようとりくみをすすめていきたい。

生活労働運動部会議で情報を共有していく。

振興局の研修のあり方について、支部と県連と連絡をしながらどのような研修がいいのか、同和問題を柱に考えるとともに「障害者差別禁止法」が法律化されていることを含め、内容を検討していきたい。

## 今後の日程

7／1　教宣会議
7／4　参議院議員選挙公示
7／5　朝田善之助記念第31回同和教育研修会（京都）
7／6　第1回全国女性運動部長会議（大阪市）
7／7　県委員会・解放学校（プラザホープ）
7／10　ふれあい人権フェスタ2013 第1回全体会議（ビッグ愛）
7／12　青年対策部会議
7／13　被爆68周年非核・平和行進
7／17　移動保健所健康検査事業5者会議（同和企業センター）
7／21　参議院議員選挙投票日
7／23　狭山ビラ統一行動
7／30　人権啓発シリーズ講座第1回（鷺の森別院）
7／31～8／1　第45回全国高校生集会（高知市）

〈各支部大会〉
7／4　善明寺女性部
7／5　笠田東女性部
7／6　杭ノ瀬
7／9　古和田女性部
7／23　芦原

## 農林水産省交渉
# 農林漁業を活性化させよう

5月24日、農林水産省交渉が同省でひらかれ、同省から尾倉功・経営体育支援室課長補佐をはじめ10人、解放同盟から22人が参加した。

農林漁業運動部を代表して片岡明幸・部長から「食肉産業の問題で、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の加盟後の見通しや個別要求について話し合いをすすめていきたい」とあいさつがあった。

尾倉・課長補佐から「本日は、全国から出された個別の要望についてまとめて回答させていただきたい」とあいさつした。

和歌山県連からは、串本支部の採貝者が抱える漁業権や採貝の放流問題、果樹や野菜の所得保障、風水害や地震によって共同倉庫・共同農機具・ハウス等が被災したとき、国はどう対応するのかなどが話し合われた。また、有害鳥獣被害等について、満足した回答が得られず、再度、交渉を申し入れた。

## 各支部で大会ひらく

●**平井支部**定期大会が6月1日、平井文化会館でひらかれた。役員は昨年のとおり。
支部長　瀧口　秀光

●**善明寺支部**定期大会が6月8日、善明寺文化会館でひらかれた。役員は昨年のとおり。
支部長　中辻　繁樹

●**鳴神支部**定期大会が6月14日、鳴神児童館でひらかれた。役員は昨年のとおり。
支部長　辻川　哲史

●**笠田東支部**定期大会が6月14日、笠田東町民会館でひらかれた。役員は昨年のとおり。
支部長　藤井　静雄

●**田辺支部**定期大会が6月14日、西部センターでひらかれた。役員は昨年のとおり。
支部長　大西　重美

## 第58回県連大会 来賓・メッセージ一覧

〈来賓〉

▼**国会議員**
大江康弘、二階俊樹・二階俊博秘書、今西康仁・石田真敏秘書、木野十三・浮島智子秘書、須崎弘一・鶴保庸介秘書

▼**県・市町村**
下宏・県副知事、大橋建一・和歌山市長、小畑一彰・白浜町長

▼**県・市議会**
長坂隆司・県議、山本忠相・和歌山市議

▼**労働組合・各種団体**

（↖3ページにつづく）